

くらし、コロナ、原発、平和・・・

だれもが安心して暮らせる ひたちなか市を

日本共産党



日本共産党
ひたちなか市委員会
暮らし・子育て応援室長

武田 さとし

- プロフィール**
- 1967年水戸市生まれ
 - 県立友部高校卒
 - 文化服装学院卒
 - 三反田小PTA元会長
 - (有)クリーク代表
 - 趣味／オーディオ・レコード、スノボ
 - 自宅／三反田3400-2
 - 家族／妻、1女、1男、猫1匹

山形ゆみ子市議の 遺志を受け継いで、がんばります

こんにちは。武田さとしです。コロナ禍、物価の急激な高騰。市民も業者も大変な生活を強いられています。子育て世代、業者としてふつうに幸せに暮らせる社会をめざし、全力でがんばります。

日本共産党の 2議席回復に 全力をつくします

11月の市議補選は、市民のために奔走してきた私の先輩議員、山形ゆみ子さんの議席を争う選挙です。

日本共産党の2議席、かならず回復し市民の願いを実現します。

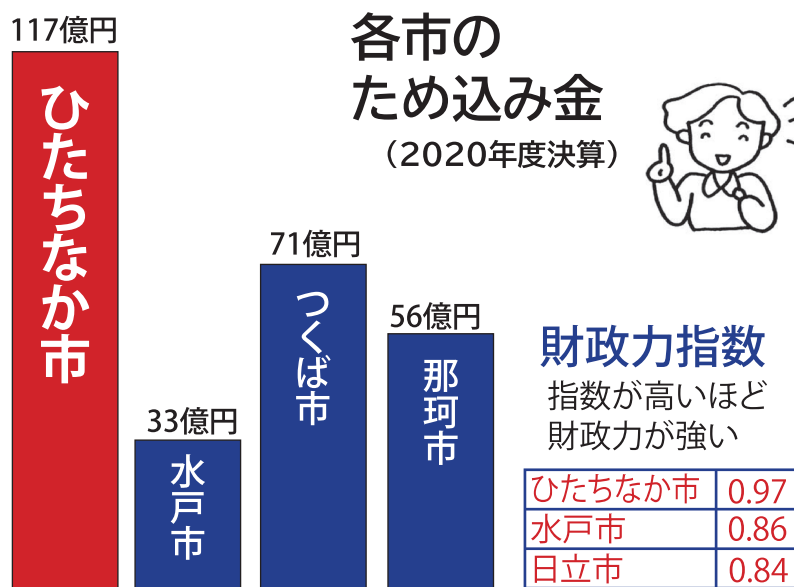


宇田たか子
日本共産党
ひたちなか市議

水戸よりつよい財政力や「ため込み金」をコロナ、物価高騰対策に

ひたちなか市の財政力指数は県内(44市町村)6位。水戸市や日立市を上回ります。「ため込み金」は約117億円(2020年度末)で水戸市の3.5倍です。

この財政力をいかして、コロナ、物価高騰対策など、市民のいのちと暮らしをまもるために全力をあげます。



東海第二原発の再稼働は許さない

岸田首相は、東海第二原発を含めた原発再稼働を明言。しかし、事故が起これば、真先に被害に合うのは隣接のひたちなか市民です。「再稼働ストップ」は市民多数の声です。

みなさんと力を合わせて、再稼働は許さず、安全・安心なひたちなか市をめざします。

まもろう9条、いかそう憲法

ロシアのウクライナ侵略に、自民党などが「軍事費2倍」「核兵器共有」の大合唱。くらしも平和も守れません。

反戦・平和ひとすじの日本共産党をのばして、9条改憲の動きを止めましょう。

暮らしに憲法をいかして、だれひとり取り残さない、ひたちなか市をつくります。

政治は変えられる

ブレない日本共産党を のばしてください

民主ひたちなか

2022年号外 日本共産党の見解を紹介します。

発行／日本共産党ひたちなか市委員会 連絡先／東石川2996-5

☎ ファックス272-2112

解決がもとめられる2つの切実な問題

① 他市より高い、ひたちなか市の学校給食費

「格差と貧困」が広がるなか、学校給食費が家計の負担になっています。県内でも公費負担で学校給食の無償化が広がっています。しかし、ひたちなか市は、学校給食費にいったい公費負担がなく、他市に比べて高い給食費になっています(表参照)。

日本共産党は「義務教育は無償」を定めた憲法26条にもとづき、学校給食の無償化をめざします。

ひたちなか市の給食費は高い!!

給食費の市町村比較(R3.5.1)／県資料

	小学校	中学校
ひたちなか市	4,300円	4,700円
日立市	3,840円	4,460円 (500円補助)
常陸太田市	2,500円	2,000円 (半額補助)
北茨城市	3,800円 (500円補助)	無料

- 全額公費負担で 無料 4市町
城里町 太子町 神栖市 河内町
- 一部公費負担で保護者負担を軽減 37市町村
食材費補助や2人目3人目の無料化など
- 公費負担なし 3市(ひたちなか市含む)

② 今年4月からの国保税の大幅引き上げ

「高すぎる」と言われる国保税が、今年4月からの税率改正によって、大幅に引き上げられました。3人世帯を例にすると、市の試算では「所得額200万円の場合には年間で約5万5千円の増額、所得400万円の場合は約7万8千円の増額」となります。この引き上げによって、生活を切り詰めるどころか、命を削るような状況にもなりかねません。

日本共産党は、引き続き、国保税の負担軽減を求めています。

県内6位の財政力をいかして、実現へ全力 ——日本共産党・武田さとし

[子育て支援3つのゼロ]

- 18歳まで均等割を廃止して子どもの国保税をゼロにします。
- 市と県で連携して学校給食費を公費負担でゼロにします。
- 18歳までの医療費窓口負担をゼロにします。

[高齢者に安心を]

- 補聴器購入への補助を実現します。
- いきいきと暮らしつつけられる交通手段を実現します。

[しごと応援]

- 中小企業を支援して最低賃金の時給1500円をめざします。
- ジェンダー平等で男女の賃金格差をなくします。

[命をまもる]

- 無料PCR検査の拡充、抗原検査キットの無料配布を実現します。
- 医療・介護・保育などケア労働者の待遇を改善します。

